

米国バーバーショップ・ハーモニー協会 コロナ対策暫定ガイダンス

いまや海外ではノーマスクが普通です。日本はどうしていつまでもマスクが外せないのか気になります。現在の米国はどうでしょうか、合唱関係者はどうしているのでしょうか。米国のバーバーショップ・ハーモニー協会(BHS)は11月3日、新型コロナウイルス対策を盛り込んだガイダンスを公表しました。

BHSのガイダンスは、“COVID-19 Interim Guidance for BHS Ensembles and Singing Communities”(バーバーショップ・ハーモニー・アンサンブルと歌うコミュニティのためのCOVID-19暫定ガイダンス)という文書です。掻い摘んでご紹介いたします。詳しくは以下をご覧ください

<https://www.barbershop.org/news/covid-19-resources-for-barbershoppers#bhs-announcements>

ガイダンスには、COVID-19の解説から始まり、歌うために注意すべきことなどが10頁にわたって書かれています。その中で「コーラス・ガイダンス」については以下のようなことが書かれています。

- ・疾病対策予防センター(CDC)その他の一般的なガイダンスに従うこと。
- ・ワクチン接種を推奨しており、宗教上または医療上の理由で接種しない場合、48時間以内のPCR検査で陰性を証明できれば合唱の参加が可能となる。
- ・参加者に、過去72時間以内のワクチン接種状況またはCOVIDテストが陰性であることの自己申告を求める。
- ・少人数のアンサンブルを推奨している。
- ・Zoomやストリーミングの活用を推奨。
- ・「ドライブイン」に車で集まり、車の中にいながらリモートで合唱練習を行う試みが紹介されています。それなりの装置と技術が必要と思われそうですが、面白い試みと思います。

詳しくは以下をご覧ください

<https://www.barbershop.org/the-drive-in-rehearsal-singing-safely-during-the-pandemic>

ガイダンスとガイドライン

日本ではもっぱらガイドラインという用語を使いますが、米国ではガイダンスと表現しています。どのような違いがあるのでしょうか。

ガイダンス【guidance】を辞書で引くと、1.不慣れで事情のわからない者に対して、初歩的な説明をすること。案内。手引き。また、そのための催し。「新入生への」、2.児童・生徒・学生が、自分の適性を知り、進路を決定できるように指導すること、

今年も宜しくお願ひ致します
謹賀新年
印

とあります。かたやガイドライン【guideline】は、1.政策・施策などの指針。指標。2.ワープロやレタリングなどで、位置を示す線、とあります。

ガイドラインは、やはり「指針」というように道筋を示したもので、何かにつけ基準となるものと考えられます。全日本合唱連盟のガイドラインは多くの加盟合唱団がこれを規範として位置付けています。いっぽう、ガイダンスはあくまで「案内」「手引き」として、参照して欲しいというような意味合いになるでしょうか。

2020年5月

米国4合唱団体の共同提言

米国の合唱界では主要な4団体によるウェビナー(ネット上のセミナー)を、コロナ禍発生直後の2020年5月5日に開催し、翌6月に提言としてまとめています。やや古い情報ですが、米国の合唱活動の基本姿勢を垣間見ることができると思います。

参加したのは、**米国歌唱指導者協会NATS、コーラス・アメリカChorus America、米国合唱指揮者協会ACDA、バーバーショップ・ハーモニー協会BHS**の4団体です。

バーバーショップ・ハーモニー協会に掲載されているウェビナーの要約は下記をご覧ください。

ウェビナーノート:科学と歌の短期的な未来

「短距離走ではなくマラソン」:科学者と芸術管理者のパネリストが、一緒に歌うことの意味を私たちが知る必要があることについて考えています。

<https://www.barbershop.org/covid-webinar-summary>

コロナウイルスとの闘いは短距離走ではなくマラソン

共同提言からいくつかのポイントを上げます。

- ◎ コロナウイルスとの闘いは短距離走ではなくマラソンである。
- ◎ 変えられるものは変え、変えられないものは受け入れて、変えられるものの良い面に注目しよう。
- ◎ 多くの深刻な感染は教会、練習室、ホールからのもの。6フィート(約1.8m)の距離を保っていても、歌うことで部屋中がウイルス粒子で埋め尽くされる。
- ◎ 医療用N95マスクは最も良いが、以下の理由で現実的ではない。十分量のマスクを入手できず、合唱団が必要な量を確保できない。歌唱中のマスクは酸素不足になり危険、CO2を内側に留め、それを長い間吸うのは望ましくない。多くの医療関係者はN95マスク装着後数時間で頭痛がすると訴えている。